

●ペパーランド/ PEPPERLAND

ライブハウスという存在が全国でも珍しかった黎明期の1974年に設立。アンディ・ウォーホルの映像作品に登場する「エクスプローディング・プラスティック・イネヴィタル」のような場所をつくろうとスタートし、岡山にライブ文化を定着させた老舗である。設立当時から音楽と共に映画、演劇、講演会、ポエトリー・リーディング…など、あらゆる文化領域を横断・接続・混淆する活動を重視してきた。次の時代のビジョンを連れてくる最も早いメディアが音楽であり、ジャンルにこだわらず若い感覚に宿る衝動を尊重し、受け止め、深め育てる姿勢を貫き通している。音楽を通じて「社会彫刻」するシチュアシオニスト的活動を尊重し、店内にはヨーゼフ・ボイスのシャツとサイン入り写真が展示されているライブハウスは類例をみない。



Photo by Live House PEPPERLAND

能勢伊勢雄 (のせ・いせお) 写真家・美術展企画・音楽評論家。

1947年生まれ。Live House PEPPERLANDを主宰(1974年～)し、脱領域的活動を展開する一方で、阿木譲の『Rock Magazine』に1983年から廃刊まで編集・執筆でかかわる。主な展覧会では岡山・倉敷市連携文化事業『スペクトル能勢伊勢雄1968-2004』展開催。水戸芸術館『X-COLOR グラフィティ in Japan』展企画(2005)。奈義町現代美術館『能勢伊勢雄写真展-MORPHOLOGY・遊図・PORTOGRAPHの世界-』展開催(2013)。大分県立美術館『OPAM×能勢伊勢雄シアター・イン・ミュージアム』(2016)…など多数。講演会ではアートビオトープ那須「山のシュレー」講師(2009-) 京都国際映画祭講師(2015-)…など多数。また銀塩写真家集団Phenomenaを結成(2008-)し、50年以上の歴史を持つ東京「美学校」の公認校「美学校岡山校」を開校する(2010-)。また書物ではdisk union社より『新・音楽の解説』(2013)。赤々舎刊・写真集『ISEO NOSE:MORPHOLOGY 能勢伊勢雄:形態学』(2014)刊行…など著作・評論等多数。2018年福武教育文化振興財団より「福武文化賞」受賞。慶應義塾大学アート・センター収蔵作家。

●オーバーコート/ OVERCOAT

OVERCOAT(オーバーコート)はNY在住の大丸隆平(1977年福岡生まれ)が2015年に創立したファッションブランド。「Wearing New York (ニューヨークを着る)」というコンセプトで、特にショルダーラインに工夫が凝らされており、サイズ、ジェンダーそしてエイジからも解放されたものづくりを目指している。コレクションは日米を中心とする主要百貨店やコンセプトストアで展開され、アート業界などクリエイティブ層からの支持も高い。



●伊勢崎州（備前焼）・スミス 一三省吾・木口 ディアンドレ（烏城彫）
Shu Isezaki (Bizen)・Smith Ethan Shogo・De'Andre Kiguchi (Ujo Bori)

伊勢崎州/1996 年生まれ/岡山県にて活動

木口 ディアンドレ/1998 年生まれ/米国に生まれ岡山県にて活動

スミス 一三省吾/1998 年生まれ/岡山県にて活動

備前焼は岡山県備前市を代表的な産地とする。釉薬を用いることなく高温にて焼き締める手法が特徴とされる。日本六古窯のなかで最も古い歴史を有する備前焼はルーツを古墳時代に遡るといふ。伊勢崎州は備前焼の作家、伊勢崎競を父とし、海外留学や調理師学校での経験を積んだ後、父の窯にて修行を始めたばかりである。

烏城彫とは 1925 年、彫刻家の木口九峰によって始められた木彫。繊細な彫りと写実的な表現を特徴とする漆器工芸品である。烏城彫の名称は、岡山城の別名を「烏城」ということに由来して木口自らと名付けたという。分業による高い技術力で作りだされる烏城彫は、岡山の誇る特産品となっている。

木口 ディアンドレとスミス 一三省吾は若い烏城彫職人として伝統と現代の融合に取り組んでいる。

